

守ろう

自主共済

《2》

保険休業保障制度を維持・存続させるための対応策として、適用除外を求めるといった原則的な立場を堅持しつつ、万一除外が実現しなかったときの対応を紹介する。

①「委託」・「移転」

「委託」は、制度を保険会社へ委託することを指し、「移転」は制度全体が保険会社へ移り、運営主体も保険会社になる。

この点で「移転」は新しい保険商品を開発することとほぼ同じと言える。

「委託」「移転」については、いずれも業法の附則条文に明記されている。保団連はこれを根拠にして「委託」の手続きについて金融庁交渉を続けてきている。

金融庁担当官は、これまで不誠実な回答を繰り返してきた

が、今年1月の交渉で、担当官が既加入者を含めて新たな引き受けができる「包括移転」による制度の継続を認める考えを初めて示した。

保団連はこれを受け

制度維持・存続の対応

万一の4つの保全対策

協議を続けている。

③「共済協同組合」

「共済協同組合」などの別組織による運営については、これまで中小企業庁・厚生労働省に要請し、運営方法について協議を続けてきた。

この方法による制度の継続で問題となるのは、協会と共済協同組合の本立での組織運営にな

るが、この方法は、業法の監督・規制は一切受けられないが、新たな加入を引き受けることができない。

以上4つの対応策を並行して進めている。現在、日本には休業保障の制度内容に匹敵する市販商品は存在しない。それは営利を目的とせず、加入者が毎月拠出する掛け

する相手があり、先方が「共済」制度を正しく認識し、保団連が根拠としてある業法の定めに沿った方向を明確に示し、その方向に合致した条件が整備された時に初めて実現の可能性がより高まる。

保団連が各保全対策の検討を進め、6月に開かれる保団連代議員会で対応策に一定の結論が得られるよう準備を進めている。

この間、歯科・医科協会は適用除外の実現に向け

て、現行の制度内容を可能な限り確保した状態で「移転」などができるよう金融庁への要請をさらに強める構えである。

②「保険商品化」について、生保会社に、現行の保障内容に極力近い商品の開発について検討を依頼し、具体化に向けて

既加入者の管理のみによる制度の運営については業法の附則に定められているが、いずれも協議

を休業した加入者への給付にそのまま充てている「自主共済」制度だからである。このような制度を、一般の保険商品と同じ規制枠にはめ込むことが自体が無謀で無理なことである。

紹介した対応策は理論上では制度の存続が可能であるが、いずれも協議

に集中している。中之島は北に堂島川、南の土佐堀川に囲まれた



三井倉庫の南東隅にたたずむ石碑

蔵屋敷は藩の商業施設で、藩の特産品の販売拠点だった。米の採れない藩が米を買い付けた。時には米相場を張ったり商人顔負けの算盤侍が活躍した。

「大村益次郎寓所跡」のある江戸堀フコク生命ビルの土佐堀り通を挟んだ辻向いに三井倉庫があり、その南東隅に「薩摩藩蔵屋敷跡」の石碑がある。薩摩藩は土佐堀川の南側に上、中、下屋敷を

蔵屋敷は藩の商業施設で、藩の特産品の販売拠点だった。米の採れない藩が米を買い付けた。時には米相場を張ったり商人顔負けの算盤侍が活躍した。

の分売点の先は淀川である。中之島は北に堂島川、南の土佐堀川に囲まれた

幕末に大暴れして江戸幕府を倒す原動力になった薩摩藩は示現流剣法で知られる武骨な印象だが、後の明治時代に経済界財界で活躍する者も多かったように、当時も商才に長けた武士が多かった。



薩摩藩蔵屋敷跡

当時の屋敷は大阪営業所

特産品販売で算盤侍が活躍

ブーメランみたいな格好の三角州である。両川に分かれる元は大川で毛馬

れた。それでもしづとい大阪人は水運の便利さの方を優先し、場所替えを

遭ったことだろう。現在も三井倉庫と物資の集散の拠点としているから業

この今は物静かな石碑は当時の彼等の多彩な活躍を凝縮してその周辺にまでオーラを漂わせている。

おおざかウォッチング

182

(新聞部・篠部正夫)

4月度生涯研修の抄録

高齢者歯科医療マニュアル

田中 義弘 (神戸市立中央市民病院歯科部長)

科診療の需要が増えたことではありますが、いずれも4-5種類の全身疾患を持つている有病・有歯者であり、健康な歯科患者ではありません。一番多い高血圧症や糖尿病、さらにこのころワーファリン・パナルジン・バップリンなど血をさらさらにする抗血栓薬を服用している患者さんの多いことだろう。このような方々もいずれは抜歯をすることになる訳ですが、血圧上昇、止血困難、さらに術後感染などについて気をつけなければなりません。これらの循環、止血、感染(免疫低下)の三つについて具体的に私が気をつけていることをお伝えし、これからの対象となる有病・有歯患者の歯科治療に当たっていただきたいと思えます。決して難しいことではありませんので、患者さんを減らさないための勉強です。ぜひ、ご参加ください。

協会行事案内

電話 06-6568-7731  
ファクス 06-6568-0564  
お申し込みは

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

シリーズ「社保講習会」(第3回)

日時 3月31日(土) 午後6時~8時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
内容 「歯周疾患、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯」  
講師 社保研究部講師団  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 1000人  
※「歯科保険診療の研究(2006年4月版)」を持参ください

三島地区総会・記念講演  
「高齢者の歯科治療 抗凝固剤服用者の観血処置」  
日時 4月1日(日) 午前10時~正午  
会場 茨木市民会館・ユアアイホール(阪急「茨木市」駅・JR「茨木」駅徒歩10分)  
講師 白川善純氏(うえだ下田部病院勤務)  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 36人

東西南地区総会・記念講演  
「本音で語る//今視るごと、これから走る方向」  
日時 4月8日(日) 午前10時~午後12時30分  
会場 保険医会館 定員 50人  
講師 吉永勉氏(生野区開業)  
会費 会員無料、未入会者1万円

4月度生涯研修  
「高齢者歯科医療マニュアル」  
日時 4月15日(日) 午前10時~午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 田中義弘氏(神戸市立中央市民病院歯科部長)  
定員 100人  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※生涯研修カードをご持参ください

第48回定期総会  
記念講演「豊かな脳を育てる食脳学」  
日時 5月27日(日) 午後12時40分~2時40分  
会場 三井アーバンホテル大阪ベイタワー(地下鉄中央線「弁天町」駅またはJR環状線「弁天町」駅から徒歩3分)  
定員 200人  
講師 大島清氏(京都大学名誉教授・生殖生理学専攻、医学博士)  
会費 会員無料、未入会者1万円  
※生涯研修カードをご持参ください

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です  
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。  
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの愛称です。